

私学助成署名推進ニュース

全国私立学校教職員組合連合
No.33 2016年2月25日(木)

2.18 私学助成全国署名提出院内集会 6,474,044筆集約を議員に宣言 議員関係70名(本人25名、代理45名)に向け父母・教職員約100名で提出!!

2016年2月18日正午、永田町の参議院議員会館101会議室を会場にして、「2015年度私学助成全国署名提出・学費の公私間格差の解消を求める院内集会」が開催されました。会場には19の都府県から93名の父母・教職員が集会前後の国会議員要請とともに集まりました。また、6会派+無所属合わせて70名(本人25名、代理45名)の国会議員関係者が参加してくださいました。

公務ご多忙なかかけつけてくださった国会議員のみなさんを前に、全国私学助成をすすめる会の櫻井敏弘共同代表から「授業料補助の自治体間格差によって学びたくても学べない子どもが出る地域がある。国の就学支援金制度を拡充して何とかしてほしい」とあいさつがありました。また、永島民男共同代表は40年間の運動が私学経常費助成を拡充させてきた歴史に触れつつ、学費の自治体間格差の是正を訴えると同時に、私学を選択できる子どもが広がる裏で、有期雇用教員の増員でそれに対応しようとしている実態を取り上げ、経常費助成の抜本的な拡充を訴えました。



2016 2.18 提出院内集会 参加議員一覧

本人出席議員のみなさん				代理出席議員のみなさん				
お名前	選出	院	会	No	お名前	選出	院	会
鈴木克昌議員	比例東海	衆	民	1	熊田裕通議員	愛知	衆	自
玉城デニー議員	沖縄	衆	生	2	石川昭政議員	比例北関東	衆	自
福山哲郎議員	京都	参	民	3	池田佳隆議員	比例東海	衆	自
中根康浩議員	比例東海	衆	民	4	酒井庸行議員	愛知	参	自
磯崎仁彦議員	香川	参	自	5	野田国義議員	福岡	参	民
倉林明子議員	京都	参	共	6	有田芳生議員	比例	参	民
☆大見正議員	比例東海	衆	自	7	藤田幸久議員	茨城	参	民
真島省三議員	比例九州	衆	共	8	山本博司議員	比例	参	公
池内さおり議員	比例東京	衆	共	9	堀内照文議員	比例近畿	衆	共
小川淳也議員	比例四国	衆	民	10	赤嶺政賢議員	沖縄	衆	共
☆大平喜信議員	比例中国	衆	共	11	又市征治議員	比例	参	社
清水忠史議員	比例近畿	衆	共	12	岡田広議員	茨城	参	自
☆畑野君枝議員	比例南関東	衆	共	13	木村義雄議員	比例	参	自
升田世喜男議員	比例東北	衆	維	14	大島九州男議員	比例	参	民
北村誠吾議員	長崎	衆	自	15	木村太郎議員	青森	衆	自
井上哲士議員	比例	衆	共	16	渡辺美知太郎議員	比例	参	無
福島みずほ議員	比例	参	社	17	志位和夫議員	比例南関東	衆	共
玉木雄一郎議員	香川	衆	民	18	根本幸典議員	愛知	衆	自
瀬戸隆一議員	比例四国	衆	自	19	岡本充功議員	比例東海	衆	民
大西健介議員	愛知	衆	民	20	山尾志桜里議員	愛知	衆	民
古賀友一郎議員	長崎	参	自	21	島山和也議員	比例北海道	衆	共
黒岩宇洋議員	新潟	衆	民	22	吉良よし子議員	東京	参	共
近藤昭一議員	愛知	衆	民	23	菊田真紀子議員	比例北信越	衆	民
高井崇志議員	比例中国	衆	維	24	長島忠美議員	新潟	衆	自
今枝宗一郎議員	愛知	衆	自	25	鈴木克昌議員	比例東海	衆	民
				26	八木哲也議員	比例東海	衆	自
				27	松本剛明議員	兵庫	衆	無
				28	小野寺五典議員	宮城	衆	自
				29	高橋千鶴子議員	比例東北	衆	共
				30	原田義昭議員	福岡	衆	自
				31	斉藤和子議員	比例南関東	衆	共
				32	吉川元議員	比例九州	衆	社
				33	小池晃議員	比例	参	共
				34	伴野豊議員	比例東海	衆	民
				35	鈴木淳司議員	比例東海	衆	自
				36	島津幸広議員	比例東海	衆	共
				37	小西洋之議員	千葉	参	民
				38	田村智子議員	比例	参	共
				39	青山周平議員	比例東海	衆	自
				40	大塚耕平議員	愛知	参	民
				41	坂本哲志議員	熊本	衆	自
				42	福島伸享議員	比例北関東	衆	民
				43	額賀福志郎議員	茨城	衆	自
				44	関芳弘議員	兵庫	衆	自
				45	平野達男議員	岩手	参	無

※ 受付ご到着順で表記
※ 本人出席 = 25名
※ 代理出席 = 45名

議員関係 70名の参加
本人代理 両参加 5議員

	本	代	計
自民	6	17	23
民主	8	12	20
公明	0	1	1
維新	2	0	2
共産	7	10	17
おおさか	0	0	0
次世代	0	0	0
生活	1	0	1
社民	1	2	3
無	0	3	3
計	25	45	70

会派数	本	代	計
衆	20	29	49
参	5	16	21
	25	45	70

ご本人・代理両方参加議員
畑野君枝議員×2
古賀友一郎議員
清水忠史議員
真島省三議員
高井崇志議員

☆ …衆議院文部科学委員 9
○ …参議院文教科学委員 3

ごあいさつくださった国会議員の皆様



上段左から、福山哲郎議員、中根康浩議員、磯崎仁彦議員、倉林明子議員、真島省三議員、池内さおり議員、大平喜信議員、清水忠史議員、畑野君枝議員、升田世喜男議員、北村誠吾議員、井上哲士議員、福島みずほ議員、玉木雄一郎議員、瀬戸隆一議員、大西健介議員、黒岩宇洋議員、古賀友一郎議員、高井崇志議員、今枝宗一郎議員、尚、鈴木克昌議員、玉城デニー議員、大見正議員、小川淳也議員、近藤昭一議員の5議員はご公務のため、途中退出なさいました。

主催者あいさつ後、参加してくださった紹介議員の方々からごあいさつを頂戴しました。「高校無償化は分け隔て無く。年収制限を取り払いたい」「お金の心配をせずに学べるように」「与野党超党派で取り組む課題」「大学の給付制奨学金の実現も」「1位の県と16万円も差が生まれる自治体間格差を何とかしたい」「教育は誰にでも平等であるべき」「所得格差が人生の格差にならないように頑張る」など、請願採択に尽力して下さる方向での発言が続きました。

その後も報告が届き 2/25 現在 **6,476,280 筆に!!**



参加者からの発言では、まず岡山の父母から「経常費助成も国基準以下、授業料補助も低い県。署名を必至に頑張るが改善されない。国会議員のみなさんの力もお借りしたい」という訴えがありました。

埼玉の教員からは「2016年度予算で、ついに年収500万円未満世帯まで『学費無償』となる制度が実現しました。運営費補助全国最低という問題はあるが、私学助成署名運動を積み重ねてきた成果です。」と報告がありました。